



主要内容

- 1P 表紙 北部ブロックグラウンド・ゴルフ大会
- 2P 町老連会長挨拶 世羅町長挨拶
- 3P 社協会長挨拶 県老人クラブ大会
- 4P 研修部会
- 5P 健康部会
- 6P 趣味部会

- 7P 奉仕部会
- 8P 女性委員会
- 9P 支部だより
- 10P 支部だより
- 11P 支部だより
- 12P 研修旅行写真 編集後記



地域と福祉を支える 老人クラブについて

会長 坂村 詔司

私は、今年度四月から会長に就任させていただきます。

会員の皆様のご協力、ご支援をいただきながら、この重責を努めてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

全国的に、少子高齢化が進む今日、世羅町においても平成二十四年には、六十五歳以上の高齢者が三十五パーセントでありましたが、平成二十九年末には四十パーセントになっており、高齢化が急速にすすんでおります。

このような現状の中、私どもに求められているのは、健康寿命といわれております。世羅町老人クラブでは、この健康寿命をのばす「健康づくり・介護予防活動」を進めており、また、高齢者の日常生活を支える「地域支援活動の強化」高齢者の尊厳が守られる「社会保障の確立」に向けての活動、更には特殊詐欺・交通事故等の被害者にならない「学びの活動」にも取り組んでいます。

これらの活動を積極的に進めていくためには、会員の増強が必要です。世羅町老人クラブの会員はここ数年減少しており、より一層の活性化を図るためには、会員増強が不可欠であります。

これからも、会員の皆様とともに、元気に老人クラブ活動に参加するとともに、地域の活動に積極的に参加し、世羅町の発展は、老人クラブが中心で働くという意気込みで、皆様に愛され魅力ある世羅町老人クラブに発展していくよう努力してまいりますので、会員の皆様のご協力ご支援のほど重ねてお願い申し上げます。



いつまでも住み続けたい 日本一のふるさとを目指して

世羅町長 奥田 正和

新たな年が始まりましたが、例年になく厳しい寒暖差の日々で、皆様方は体調管理に苦慮されていることとお察しいたします。もうすぐ春の訪れを感じられる時期になりますが、お体には十分にお気をつけください。

日頃は町政の推進に格別のご理解とご協力をいただいておりますこと、心から厚くお礼申し上げます。

昨年は、町民の皆様と築き上げた第2次長期総合計画「いつまでも住み続けたい日本一のふるさと」の実現に向けて、様々な施策に取り組んでまいりました。引き続き、新たな発想を展開しながら全力を尽くす所存でございます。

中でも、健康づくりとして、健康増進のためのストレッチやウォーキングなどの普及・啓発を進めてまいります。地域包括ケアの取り組みでは、各機関の連携を密にし、誰もが住み慣れた地域で心身ともに健康で暮らせるよう進めてまいります。超高齢化社会に対応したマイレージ制度の導入も、健康寿命拡大のため早急に進めたいと考えております。

駅伝のまち「世羅」を全国に知らしめてくれている世羅高校陸上競技部は、昨年末も全国大会にアベック出場し、男女ともに活躍してくれました。全国の強豪校が集う中で、精一杯躍動する姿に町民は感動をもらいました。是非とも再度優勝旗を手にするため「チーム世羅」で一緒に応援していきたいと思っております。

世羅町老人クラブ連合会会員の皆様には、引き続き、豊富な経験、技能、知識を大いに発揮していただき、皆様の生きがいづくりや社会参画、また、地域の指導者として大いに貢献していただけるものと確信しております。

健康で心豊かに暮らせる町、そして日本一躍動する世羅町となるよう、共に力を合わせて進みたいと願っております。

また、貴会と各地区老人クラブの皆様がしっかりと連携され、今後の社会参加を促進するための事業を積極的に展開されますことを期待しております。

結びに、貴会の益々の発展と皆様のご健康を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

老人クラブの 力を活かして

世羅町社会福祉協議会

会長 玉谷 隆



世羅町老人クラブ連合会会員の皆様におかれましては、日頃より仲間づくり、健康づくりにとどまらず、様々な地域活動にご尽力されておりますことに心から敬意を表します。

近年、地域では少子高齢化等の急速な進行により、私たちを取り巻く環境は大きく変化しております。

それに伴い高齢者福祉に対するニーズもますます多様化し、介護保険事業等による、福祉施策やサービスなど「公助」の取り組みの充実をはじめ、地域住民同士による見守り、助け合い、支え合い活動「共助」の充実がますます求め

られております。

誰もが安心して生活するためには、地域に住む一人ひとりが主体となつて、課題の発見と解決に取り組む、お互いに気づき合い、助け合い・支え合う関係が不可欠であると考えます。

世羅町社会福祉協議会におきましても、「ともに生きる福祉のまちづくり」をスローガンに、行政や自治センター、関係団体、地域住民の皆様と共に、サロン活動や小地域での見守り活動等の推進に取り組んでおりますが、こうした住民参加による助け合いや支えあい活動の実現のためには、長年にわたり地域社会を支えておられます老人クラブの皆様の豊かな人材と知識や経験が必要欠くべからざるものだと考えております。

今後は、地域力をさらに高め、活力ある地域社会を創るために、世羅町老人クラブ連合会会員の皆様と世羅町社会福祉協議会とのより一層の連携・協働を図りたいと考えます。

結びにあたり、世羅町老人クラブ連合会の今後ますますのご発展と会員皆様のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げます。

広島県老人クラブ大会

●十一月二十一日(火) ●広島県医師会館

町老連からは、坂村会長、島崎女性副委員長、小野中堀健幸クラブ会長、伊尾相生会 岡光前会長、徳重元監事、木村事務局長の六名が参加しました。

開会式に続いて、老人クラブの発展に功労のあつた皆さんの表彰がありました。

世羅町老連からは、次の方が受賞されました。日頃からのご尽力に感謝し、紹介させていただきま

す。(敬称略)
続いて、講演が行われ、口腔ケアの大切さについて学びました。

県老連表彰

☆単位老人クラブ会長の部
岡光 正朝 (前伊尾相生会)
小野 二郎 (中堀健幸ク)
前中 哲志 (前吉川朗生会)

☆特別賞 (元町老連役員)
岡田 國雄 (元会長)
徳重 康弘 (元監事)
小池 義行 (前監事)
井上 静人 (前監事)
林 達子
(前女性委員長)



各部の活動報告

研修部会

部長 平谷 昌雄

地域指導者研修会

○十月二十日(金)

○甲山保健福祉センター

町内老人クラブ役員が集まり講演と事例発表で研修いたしました。

① 講演

「高齢者のこれからの生き方」

講師 前福山平成大学教授

藤井 悟 先生

先生は、今の地域社会の問題点中でも経済的な豊かさが、心に与えた変化を憂い、今こそ高齢者が、自らの生き方を見直す必要があると話されました。

☆世代間交流

☆男女を問わずグループ交流

☆「してもらう」の考えを捨て

「高齢者にしかできない」ことを見つけて行動すること

などを提案されました。

そして、人間とは、人と人との

間で生きるもの、高齢者は自らの活動が次世代への架け橋となり、地域の人間関係の潤滑油となるのだと自負して生きていこうと話されました。

② 事例発表

「川尻長寿会の活動状況」

川尻長寿会前会長

天間 宏

○会員増の取組み

「住みよい地域をつくり守ることが私たちの大きな目標です。地域の老人会を支えるためには是非ご加入ください」と切々と訴えるチラシをつくり役員が足を運んで加入を促し、仲間を増やしてきました。

○活動内容の工夫

老人集会所ひじり荘の維持管理、薬師さんの草刈り清掃などの奉仕作業を通して地域の宝や文化財を守る活動、健康寿命を延ばす健康づくり、相互の親睦仲間づくり等活動の意味づけをして計画し実施してきました。

○これからの私の生き方

働くお年寄りは元気。しっかり体を動かす。歩く。体操を続ける。高齢でも、とても情熱的に活動されている國正利明先生を目標にして過ごしたいと思います。

北部ブロックリーダー研修会

○十一月九日(木)

○安芸高田市

向原生涯学習センターみらい

出席者約百三十人

事例発表

1 「私たちの活動」

～みんなで楽しく～

庄原市老連秋國秋寿会

会長 黒田 清隆氏

草刈り清掃等の奉仕活動、健康づくり教室、食事会、稲わらによる作品づくり等を紹介されました。

2 「老人クラブの再生と高齢者相互支援事業に参加して」

三次市老連仁賀もみじ会

会長 立石 雅哉氏

老人クラブ存続のピンチをG同好会の会員が全員入会で乗り越え、高齢者相互支援事業へ参加しての活動を紹介されました。

講演 安芸高田の新たな宝

「甲立古墳」

安芸高田市地域振興事業団
文化課課長 沖田 健太郎氏

研修・親睦旅行

○十一月十七日(金)

○三江線の乗り納めの旅

三月末で廃止される三江線(三次ー江津間百八キロ) 乗りの納めの旅を計画しましたところ六十三名の参加がありました。

二班に分かれ、三次駅で乗車し、一時間半、山間部雑木林の中を紅葉を眺めながら走り、潮駅で下車。ここからバスで移動し、三瓶小豆原埋没林公園を見学しました。埋没巨木は直径2.3Mもあり感動しました。

その後は会食で楽しく親睦を図り、有意義な一日旅行となりました。



埋没巨木



列車

健康部会

部長 杭谷 充磨

今年度の健康部会では、年三回のグラウンド・ゴルフ大会を計画し、部会員及び役員・会員の協力のもと盛会裡に終了することが出来ました。

第十一回町老連GG大会

○十月三日(火)

○夢公園GG場

この日は前日からの悪天候で決断するのに戸惑いましたが、会長の一声「やるじゃないか」で決行しました。開会式が始まる時には、すっきりとした秋空が広がり百五十三名の選手の皆さんは、和気あいあいの楽しい一日を過ごされました。

第三位までの方を紹介します。

◆男子の部

優勝 有地 昌三

準優勝 小林 義昭

第三位 岸 順之

◇女子の部

優勝 和田マズ子

準優勝 石原 文子

第三位 安永百合子



男子15位までの入賞者



女子15位までの入賞者

北部ブロックGG大会

○十月十二日(水)

○夢公園グラウンド・ゴルフ場

朝から小雨の降る中、庄原市、三次市、安芸高田市から選手の皆さんが世羅台地に集合され、団体戦三十六チーム二百十六名で行われました。雨は止む気配がなく、プレーも集計も大変な大会になりました。

世羅町老連からは、六チームが出場し、地元開催でもあり大奮闘されました。そして甲山Aチームが、見事優勝されました。優勝メンバーを紹介します。

有地 昌三 福永 彰

政宗富美恵 杉原 節子

藤元ノブエ 内海 一枝



第二回県老連理事長杯

○十一月二日(木)

○三原市本郷町北方グラウンド
昨年度から始まった大会で、世羅町老連からは、各支部二名ずつで一チームを結成し参加し各地区から集まった二十四チーム、百四十四名とともに、プレーを楽しみ交流しました。

世羅町老連チーム

小林 義昭(世羅西支部)

小林 弘子(世羅西支部)

若松 健一(世羅支部)

川手 君江(世羅支部)

松井 嘉秀(甲山支部)

松井 隆子(甲山支部)

グラウンド・ゴルフは、複雑なルールに縛られることなく、簡単なルールで、何処でも誰でも楽しみながら生涯を通して、できるスポーツです。
「交流して 笑顔になって 健康に」をモットーに、一人でも多くの皆さんがグラウンド・ゴルフに親しまれ、来年度もまた各大会に積極的に参加してください。期待しています。

趣味部会

部長 林 義俱

第三回作品展

○十一月二十九日(水)

十二月一日(金)

○甲山保健福祉センター

三支部から六十名の会員が出展、百三十点を展示し、三日間で二百三十名の皆さんに鑑賞していただきました。

今年は、男性の方の出展が増えてバラエティーに富んだ作品展となりました。



世羅支部



世羅西支部



甲山支部

サロンの内容

4月	楽しいレクリエーション 趣味を楽しもう 春の健康づくり
5月	趣味で楽しもう いきいき体操
6月	楽しいレクリエーション 趣味を楽しもう
7月	趣味を楽しもう 減塩でおいしく食べよう
8月	趣味を楽しもう いい歯で元気に過ごそう
9月	楽しいレクリエーション 趣味を楽しもう
10月	趣味を楽しもう 薬を効果的に服用
11月	趣味を楽しもう 感染症を予防しよう
12月	食事会
1月	趣味を楽しもう 楽しいレクリエーション
2月	趣味を楽しもう いい歯で元気に過ごそう
3月	自分の心を見つめてみよう 趣味を楽しもう



世羅あつたかサロン

今年度も、世羅中央病院内で、サロンを開催しました。毎月第二・三・四週水曜日の午後、健康講座、趣味講座、レクリエーションなど、有意義な時間を重ねました。

各自治センターに常設サロンが定着したこともあって、あつたかサロンへの参加者が減少しています。

みなさん、無線放送等での情報を聴いて、興味のある内容からでも、参加してみてください。一緒に楽しみましょう。



奉仕部会

祝 奉 寿

卒寿を迎えられた48名の会員のお方をご紹介します。〔敬称略〕

部長 小野 二郎

単位クラブ名	お 名 前	単位クラブ名	お 名 前	単位クラブ名	お 名 前
甲山支部		宇津戸福寿会	杭 谷 房 子	重永前八笑会	金 谷 花 子
甲 山 親 和 会	溝 口 冬 子		宗 田 トヨコ		渡 利 京 子
西上原親和会	貞 末 愛 子		谷 歌 子		杉 原 松 人
小世良親和会	吉 村 南 香子		山 口 タカヨ		笑 迫 綾 子
	森 登 美 子	世羅支部			
川 尻 長 寿 会	原 田 保 子	栄 町 長 寿 会	上田才 公 治	重 永 若 葉 会	馬 場 節 子
	熊 田 多喜子	大 田 長 生 会	岡 本 森 夫		片 山 マサヨ
東上原幸友会	橋 川 熙	大田町長寿会	山 田 磯 栄	青 水 青 和 会	後 藤 紀代子
砂 田 喜 楽 会	光 本 イクエ	東 福 寿 会	西 原 喜美子	京 丸 優 寿 会	川 本 アサ子
	原 田 幸 子	寺 町 百 寿 会	小 林 新 高	賀 茂 東 朗 生 会	加 藤 一 子
播 反 喜 楽 会	森 生 梅 代	安 田 長 寿 会	丸 山 シズ子	田 打 寿 友 会	金 尾 ウメヨ
	松 本 操		柴 田 シズコ		元 泉 幸 子
赤 屋 喜 楽 会	藤 井 義 範		森 政 子		光 永 ハルミ
	松 本 愛 子	黒 淵 む つ み 会	福 川 寛 美	世羅西支部	
宇津戸栄寿会	田 坂 淳 子		平 田 房 代	津 田 朗 生 会	石 井 敏 治
	塚 本 ミサコ	中堀健幸クラブ	田 丸 馨		奥 田 剛
宇津戸福寿会	向 井 敏 子	重永前八笑会	三 浦 サチ子	いきいきシニア	宗 廣 榮 留

卒寿によせて

津田朗生会 石井 敏治
卒寿を迎え多くの苦楽がありました。今まで生かしてもらった事を感謝しています。

苦しかったことも多く、幼いころは、祖父母に育てられ気ままに生活、津田小学校では成績は良くなかったが、六年間無欠席でした。昭和十五年私立日影館中学校に入学し、自転車で通学。戦時中で軍事訓練、奉仕作業「稲刈り」

「暗渠排水」「麦植え」。昭和十八年呉海軍工廠に学徒動員され、造機部で働き、昭和二十年卒業式に出たのは六名だけでした。中途退学八十五%です。内訳は「少年航空兵四十八名」「代用教員十七名」「警察官七名」「税務署五名」

私は昭和十九年に進学し神戸にいました。昭和二十年阪神大空襲で校舎、寮が全焼し六月から練習船海王丸で実習中、八月十八日に終戦を知り帰郷しました。

帰郷しても仕事もなく、金もななく日雇いや「松根を掘り」「池の土手」「河川工事」作業に出夫、

経済が少しくなり「役場仕事」「煙草耕作」父が退職し母が事故で死亡してから「高校教師」、
「世羅工業(株)」 「自営業石井製作所」四十年余り色々な人にお世話になりました。
父が老人クラブ退会後、津田朗生会の仲間に入れてもらいました。健康で寝たきりとボケない方法を考える齢になり、ひとつでも多く取り入れるよう頑張っていきたいと思ひます。

一 積極的に動くこと

① 仕事をやる

② 運動歩く

③ 世話

④ 趣味もつ

⑤ 子供との交流

二 社会奉仕活動

三 健康診断受診

四 昼は寝ないこと

女性委員会

女性委員長 内海 智子

梅雨空の下

もりあがったGG大会

○六月八日(木)

○夢公園GG場

梅雨時期で、予報を見て予備日に変更して実施しました。

昨年の反省に立ち、万全の連絡網と役員の皆さんの協力に対応し、曇り空のもとで三ゲーム二十四ホールを、八十七名の参加で楽しみました。とはいえ、日時の変更で、参加できなくなられた会員の皆様には、申しわけないことでした。お詫びします。雨天中止、延期のリスクの高い梅雨時期の計画は一考の余地あります。



来賓の皆様

今年度も、競技準備、集計等男性役員の皆さんに、親身になつて関わっていただき改めてお礼申しあげます。



◇十位までの成績発表

優勝 政宗富美恵

準優勝 藤原津弥子

第三位 坂村 清子

第四位 和田マスコ

第五位 木原 睦恵

第六位 光元 満子

第七位 佐々木フジエ

第八位 小林 弘子

第九位 石原 文子

第十位 宗田トヨ子



女性委員役員親睦会

七月十七日(月) 昼食会を兼ねて、役員八名が集まりました。議題としては、GG大会の反省が主なものでした。

行事を共にやりきったことで一層連帯感が強くなった感じで次々と話が盛り上がりました。

町老連に女性委員会をきちんと位置付けてから久しいのに、なかなか全体の組織化が出来ない。各単位クラブから、女性委員を選び、支部の組織をつくりその代表が集まって町老連の女性委員会として機能する形をつくりたい。何が、ネックなのか？どんな難しさがあるのか？たくさん話をし、集まることの大切さをしみじみ感じ、仲間のありがたさを感じる事が出来ました。



親子もちつき体験

○十月九日(月) 体育の日

○甲山保健福祉センター

あつたか福祉のまちづくりの行事の中で、町老連は餅つきを受け持ちました。

男性役員は、つき手として、女性役員は、きね取りや餅丸め役として頑張りました。

親子連れや、世羅高陸上部の皆さんたちが楽しく参加してくださいました。搗き上がった餅を、きな粉や砂糖醤油で皆さんに振るまいました。



■各支部だより

世羅支部

第十二回GG大会

○八月二十四日(木)

○夢公園GG場

毎年この大会は十名位の企画委員、大会実行委員の方の絶大な支援のお陰で、会員相互の交流の場となっています。

今回は猛暑の中だったにもかかわらず八十名の会員が参加し三ラウンドのゲームを楽しみました。男女別上位三名の方は次のとおりです。(敬称略)

◇男性の部

若松 健一 五十四打
石原 洋也 五十五打
山崎 始 五十六打

◇女性の部

川手 君江 五十九打
田畑 邦子 六十三打
石原 文子 六十三打

今年もお互いに声を掛け合って楽しいGG大会としましょう。

世羅支部では、これまで広島銀行や尾道公証役場から講師を招いて、「遺産相続・遺言」等について研修しました。今年

は、見送りましたが、今後も会員の声を聞きながら、研修の場を持つていきたいと思っています。



甲山支部

第十三回福祉大会

○二十九年三月二十八日

○甲山農村環境改善センター

参加者二百九十二名

開会行事の後は、老人クラブ活動の永年功労者の表彰、続いて当時世羅中央病院リハビリ課部長永富彰仁先生による「介護予防認知症予防のためにできること」の講話を聴きました。

現在各常設サロンで取り組まれている「いきいき百歳たいそう」の效用お聞きし、もっと広めていきたいと思いました。

老人クラブ会員はもとより高齢者みんなの体操として定着すれば、健康で百歳を迎えることも現実となるでしょう。午後からは、世羅町文化協会甲山支部の皆さんによる歌や踊り、演奏などを楽しみました。



今年度の第十四回福祉大会は三月十八日(日)に行います。

グラウンド・ゴルフ大会

○八月十八日(金)

○宇津戸スポーツ広場

八十六名が参加して開催し、皆さん終始、笑顔で、楽しくプレーし、健康づくりに交流に有意義な大会となりました。

成績は次のとおりです。

優勝 藤元ノブエ(川尻)
準優勝 多留見 衛(砂田)
第三位 藤原津弥子(小世良)



第八回 女性のつどい

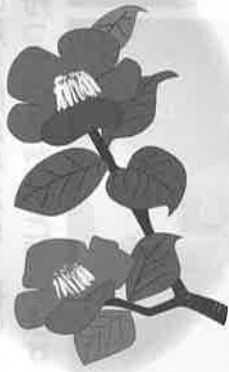
女性委員会

十二月一日、甲山保健福祉センターに於いて、町老連第三回作品展示会の開催と重ねて実施し、総数百十名の参加で盛り上がりしました。

作品展を三日間行い、最終日に、つどいを行う方式は、甲山支部だけでなく、女性だけでなく広く集うことが出来るよいやり方だと思っています。

はじめに世羅町福祉課細美様の健康講話「健康で過ごすために」を聞きました。聴くだけでなく笑ったり身体を動かしたり健康な心身づくりに大切なことをたくさん体験しました。

芸能発表では舞台と会場が一体になって、カラオケや舞踊、寸劇やリズム体操を楽しみました。



世羅西支部

五月二十五日に理事会を開催しました。参加理事は十六名。主な議題は会計報告、活動報告、会計予算に加え支部規約の一部改正と役員改選、その他でした。主な活動を報告します。

グラウンド・ゴルフ大会

○十月二十七日(金)

○タウンセンター広場

前に小国駐在所の藤本警察官に、交通安全と地域の犯罪被害状況と戸締りなどの注意事項についてお話していただきました。



紙しばい



人生
楽しく生きなきゃ
損! 損!



寸劇

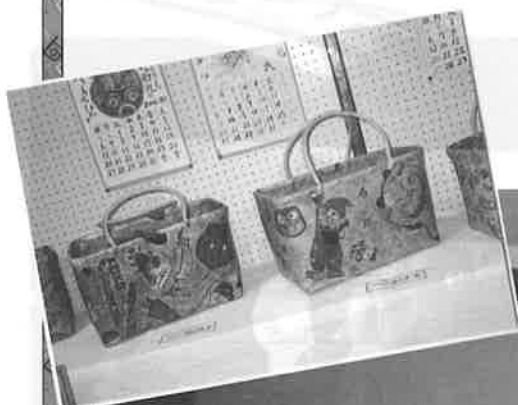
女性のつどい



世羅西中一年生との
ふれあいグラウンド・ゴルフ大会
○十二月十一日(月)
○夢公園GG場
恒例になりました支部活動の
一つです。当初の計画は十月で
したが、雨のため中止となり寒
さを覚悟の上で実施しました。
中学生十六名と会員三十五名が
ふれあいを深めました。

第11回 芸能発表会と作品展

年一回支部会員が一同に会して、芸能発表と作品展を
行い交流を深めています。
平成29年3月2日(木)
せらにしタウンセンター



シニア作品展・芸能発表会





世羅町老連三江線の乗り納めの旅

平成29年11月17日(金)



編集後記

会員並びに購読者の皆さんこんにちは。
今年度より広報部のメンバーの一部が変わりました。解かりやすく、読みやすい広報紙にしていきたいと思っています。

町老連だよりは、町老連の活動および会員約二千名の皆さんの日頃のご活躍状況を広く町民にお知らせしご承知いただき、町老連未加入の方にもこぞって加入し活動に参加を頂きたいという意味合いもあり編集されています。

今では、世羅町も少子高齢化の波には勝てず、加入有資格者である高齢者は人口の四割以上にもなっています。世羅町を元気にするのも私たち世代の大きな使命であろうと思います。

私は、昨年五月より単位クラブ役員から支部役員、町老連役員になりました。会員の中には色々なことに優れた才能の持ち主がたくさん居られます。元気で皆さんと一緒に活動できれば幸せであると思うところです。

終わりになりましたが、第十三号発行にあたり貴重な原稿をお寄せいただきました方々に感謝しあげ編集後記といたします。



事務局	木村 輝範	広報部長	仙光 保喜
"	内海 智子	員	田坂 明道
"	島崎 憲子		末盛 守
"	佐々木フシエ		